

診療情報を利用した臨床研究について

平塚共済病院外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究対象者にあたると思われる方の中で、ご質問のある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとお思いになりましたら、遠慮なく下記問い合わせ先までご連絡下さい。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

(1) 研究概要について

研究課題名：

右側結腸癌患者におけるリアルタイム 3DCG ソフト(Viewtify®)と裸眼立体視ディスプレイを用いた上腸間膜動静脈の分岐形態の解析：前向き多機関共同観察研究

研究期間：研究実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日

実施責任者：平塚共済病院 外科 菅野 伸洋

(2) 対象となる方

上行結腸癌、横行結腸癌と診断された患者で、参加施設にて腔鏡下またはロボット手術下（拡大）結腸右半切除術を施行する患者を対象とします。

(3) 研究の意義・目的

本研究では、右側結腸（上行結腸や横行結腸）切除術の安全性を向上させることを目的としております。手術前に、リアルタイム 3DCG ソフト（Viewtify®）と裸眼立体視ディスプレイを使用して、上腸間膜動静脈の分岐の形態を詳しく確認いたします。その結果と、従来の CT による評価、および実際の手術所見との一致率を比較し、Viewtify®の精度を検討することを目的とします。

（４）研究の方法

診療録から以下の情報を収集します。

背景情報：（登録時）年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、併存疾患、ASAPS

画像検査：術前下部消化管内視鏡検査、造影 CT

腫瘍主占居部位、全占居部位

手術情報：手術年月日、術者の内視鏡外科技術認定取得の有無、出血量、手術時間、術式、開腹移行、手術アプローチ（腹腔鏡/ ロボット）、中枢リンパ節郭清度、アプローチ方法（内側、後腹膜、頭側）、術中血管損傷、損傷 Grade、SMA/V 分岐パターン（イラスト・所見参照）、画像評価者の年次

診療録からの情報や、術前 CT などの画像検査結果を用いて血管走行パターンについて検討します。

（５）個人情報の保護について

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定されないような形で使用いたします。保管期間は少なくとも本研究の終了について報告された日から 5 年間もしくは当該研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間としますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性（以下「二次利用」という。）があるため保管期間終了後も期間を定めず保管します。

（６）研究成果の公表について

学会発表もしくは論文で公表いたします。

（７）費用について

患者様にご負担いただく費用はありません。

（８）問い合わせ等の連絡先

平塚共済病院 外科 遠藤 和也

（ 対応可能時間：平日 9 時～17 時 ）

電話：0463-32-1950（代表）